

大阪府豊中市 における地域の取り組みについて

～第12回 全国校区・小地域福祉活動
サミット in **豊中** を通じて～

社会福祉協議会 支えあい推進課

地域福祉推進拠点 大和田 渡邊 真広

地域福祉推進拠点 由 井 村上 萌



豊中市の概況について

- 大阪府の中央部の北側、神崎川を隔て大阪市の北に位置し、東は吹田市、西は尼崎市、伊丹市、北は池田市、箕面市に接している。
- 大阪国際空港の東側から千里丘陵にかけて豊中市が位置し、市内の交通は阪急電鉄やモノレール、バスがあり、交通網が充実。

豊中市の人口：398,812人（平成31年1月1日）
面積：36.6平方キロメートル
中核市：平成24年（2012年）4月1日中核市に移行

八王子市の人口：562,460人（平成30年12月31日）
面積：186.38平方キロメートル
中核市：平成27年（2015年）4月1日中核市に移行



豊中市キャラクター
「マチカネくん」

(豊中市ホームページより引用)

豊中市の
日常生活圏域
について

北中部

北緑丘・野畑
少路・上野
東豊台・東豊中

北東部

北丘・東丘・西丘・南丘
新田・新田南・東泉丘

北西部

刀根山・大池・桜井谷
桜井谷東・螢池・箕輪

中部

桜塚・克明・南桜塚
熊野田・泉丘

中西部

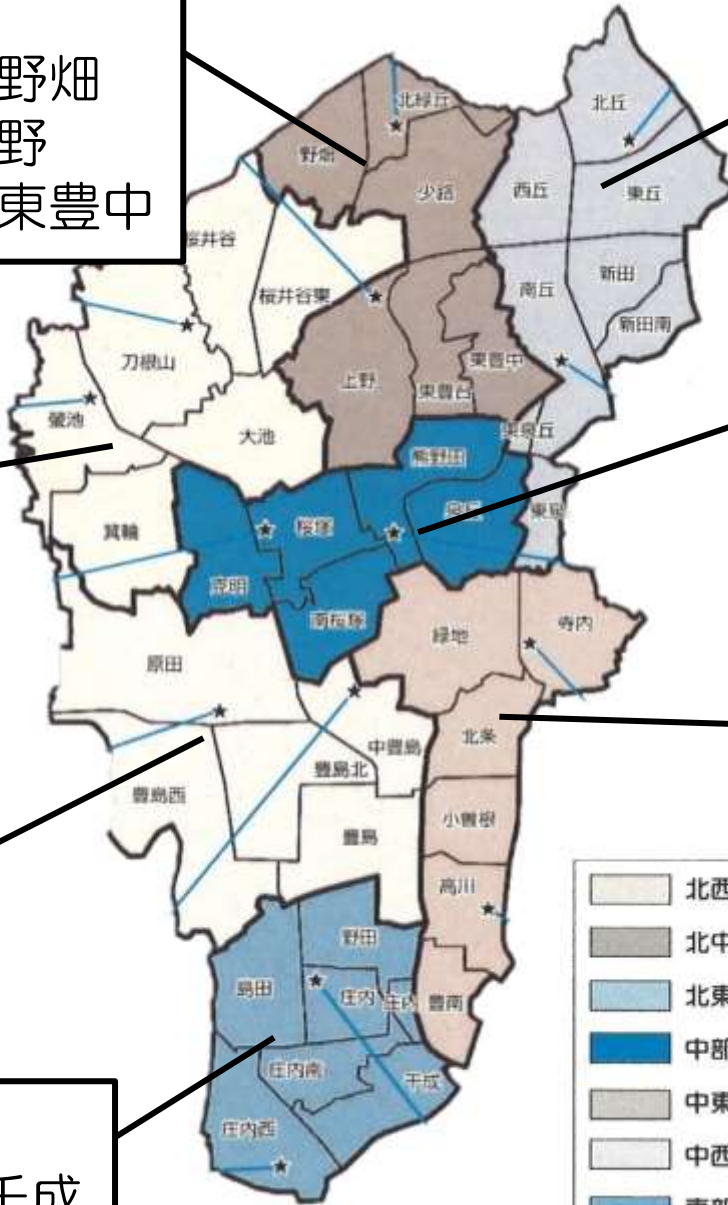
原田・豊島西・豊島
豊島北・中豊島

中東部

寺内・緑地・北条
小曾根・高川・豊南

南部

庄内西・庄内南・千成
野田・島田・庄内



★地域包括支援センター

<表記>

圏域名 (○○部)

小学校区名

(図は豊中市第7期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画より引用)

公民分館と校区福祉委員会について

【公民館・公民分館】

4つの公民館（中央・蛍池・庄内・千里）

講座・イベント・展示会などを開催するとともに、市民の生涯学習活動を支援
地域のコミュニティプラザ、コミュニティルーム、学校（余裕教室）や地域の会館を利用して、その活動を進めている

・公民分館は住民が主体となった公民館活動の拠点

市民の身近な社会教育機関として、教育的、自治的、福祉的活動の中核となっている

・初の設置は昭和24年6月（桜井谷公民分館）

その後、順次整備され、現在全41の小学校区に設置

【校区福祉委員会】

豊中市社会福祉協議会の内部組織として概ね小学校区単位に結成された、住民の自主的なボランティア組織。市内全域で結成されている（現在38校区で活動）

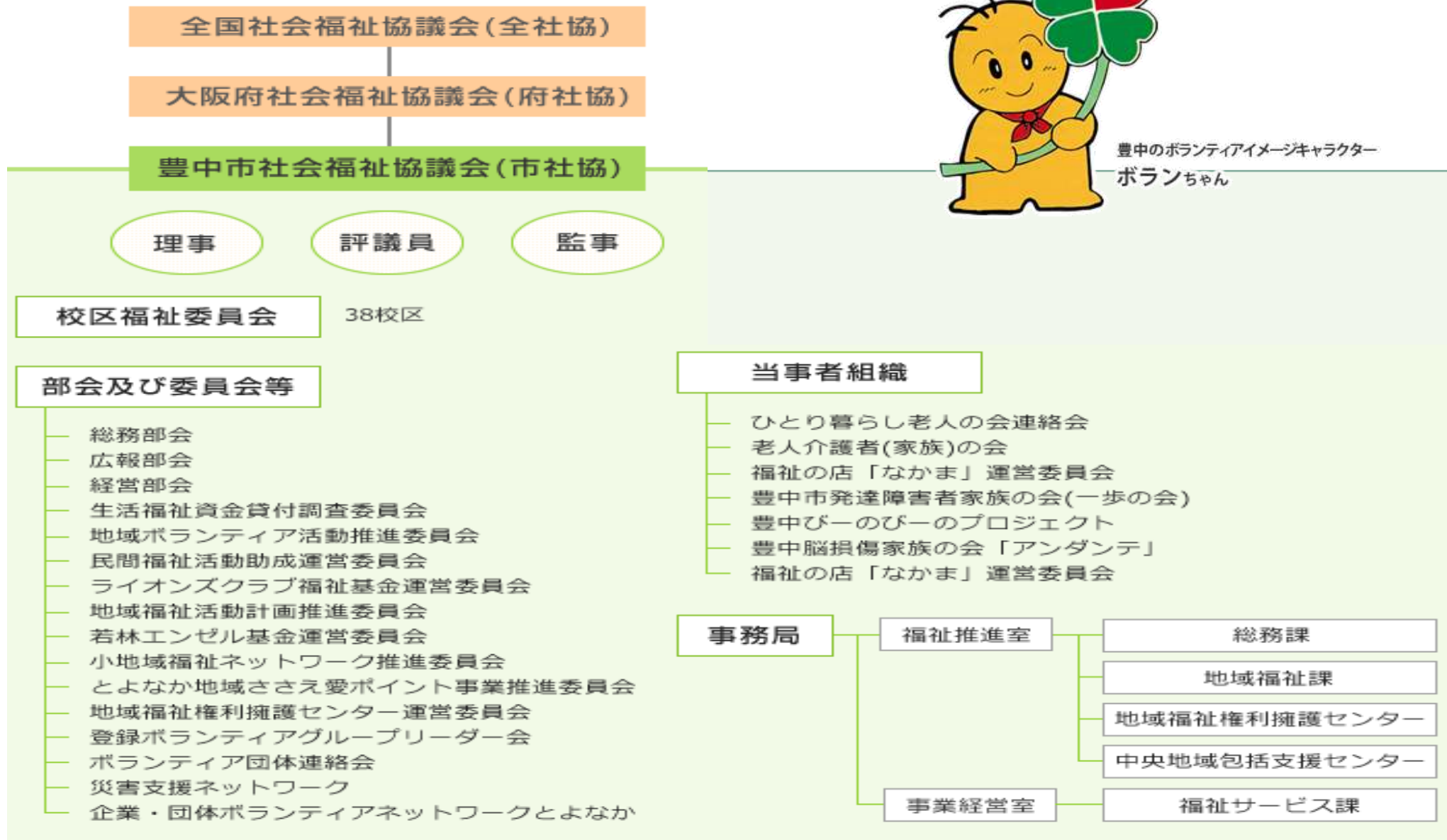
・主な構成：①住民団体、②福祉団体、③当事者団体、④関係団体

・主な活動：老人福祉活動や小地域ネットワーク活動、青少年福祉活動、保健福祉活動など

豊中市社会福祉協議会について



豊中のボランティアイメージキャラクター
ボランちゃん



コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について

- 豊中市地域福祉計画に基づき、介護保険制度の生活圈域（7圏域）ごとに2名ずつ配置。
2名のうち1名はすこやかプラザ本部で、もう1名は地域福祉活動支援センターに配置されている。
- 制度の狭間の問題など個別の課題に対応し、地域の課題として共有する場を設け、課題提起し、新たな支援対策を検討。

= 主な役割 =

- 福祉なんでも相談窓口のバックアップ
 - ・社会的援護を要する人々への対応
 - ・複数機関の連携による支援
 - ・公民協働でのサポート
 - ・地域との関係調整
- 地域福祉ネットワーク会議の運営
- 地域福祉計画の支援
- セーフティネットの体制づくり
- 要援護者に対する見守り・相談

コミュニティソーシャルワーカーの取り組み 個別支援から仕組みづくり

協働プロジェクト

- ・福祉ゴミ処理プロジェクト

大量ごみの処理についてのルール化を図る

- ・徘徊SOSメールプロジェクト

携帯電話を使つてのまちぐるみの
ネットワーク

- ・各種交流会の開催同じ立場の介護者をつなぐ
- ・高次脳機能障害者家族交流会&自主グループ化

- ・広汎性発達障害者の家族交流会
& 自主グループ化
- ・男性家族介護者交流の集い
- ・若い家族介護者の交流会
- ・8カ国語の地域福祉ガイドの作成

勝部 麗子（かつべ れいこ）さん

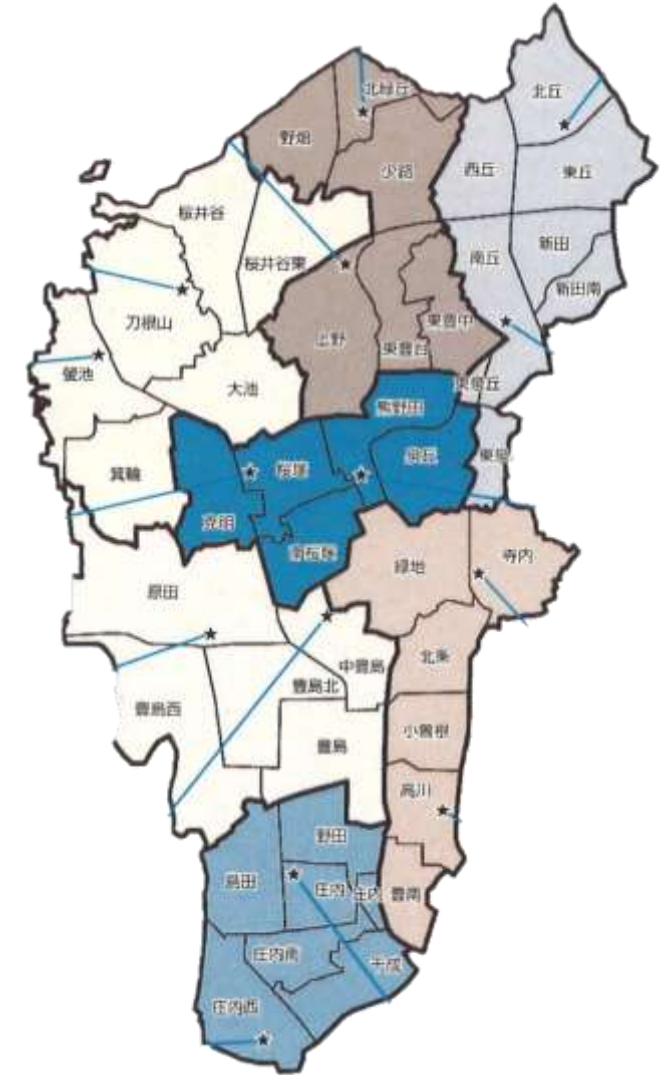
大阪府豊中市生まれ。昭和62年に豊中市社会福祉協議会に入職。平成16年に地域福祉計画を市と共同で作成、全国で第一号のコミュニティソーシャルワーカーになる。地域住民の力を集めながら数々の先進的な取り組みに挑戦。その活動は府や国の地域福祉のモデルとして拡大展開されてきた。NHKドラマ「サイレント・プア」のモデルであり「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも出演。著作に「ひとりぽっちをつくらないーコミュニティソーシャルワーカーの仕事」。



コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置について

- 地域福祉の担い手づくりの拠点・・・ボランティア講座、介護保険講座の開催
- ボランティア、地域活動の支援拠点・・・障害者や高齢者の作品展
- 福祉なんでも相談窓口のバックアップ

	圏域	センター名	所在地	学校区
◎	中部	本部	豊中市岡上の町2丁目1番15号 豊中市すこやかプラザ2階	桜塚・克明・南桜塚 熊野田・泉丘
①	北西部	蛍池	ルシオーレ南館1階	刀根山・大池・桜井谷 桜井谷東・蛍池・箕輪
②	北中部	東豊中	東豊中老人憩いの家 4階	北緑丘・野畑・少路 上野・東豊台・東豊中
③	北東部	北丘	セブンイレブン豊中新千里北町店 2階	北丘・東丘・西丘・南丘 新田・新田南・東泉丘
④	中東部	高川	高川介護予防センター内 3階	寺内・緑地・北条 小曾根・高川・豊南
⑤	中西部	服部	服部介護予防センター内 2階	原田・豊島西・豊島 豊島北・中豊島
⑥	南部	庄本	庄本介護予防センター内 1階	庄内西・庄内南・千成 野田・島田・庄内



(豊中市社会福祉協議会ホームページより引用)

泉丘校区について



中部
泉丘校区

【泉丘校区概要】

- ・面積：0.922平方キロメートル
- ・小学校：泉丘小学校
(生徒児童数は844名)
- ・人口：11,462人、4,644世帯
(高齢化率は20.2%)
- ・登録自治会の数は13
- ・**泉丘コミュニティルーム**を中心に
公民分館、校区福祉委員会が活動

(数値は平成28年度
豊中の校区福祉委員会の概況より引用)

泉丘公民分館と地域諸団体



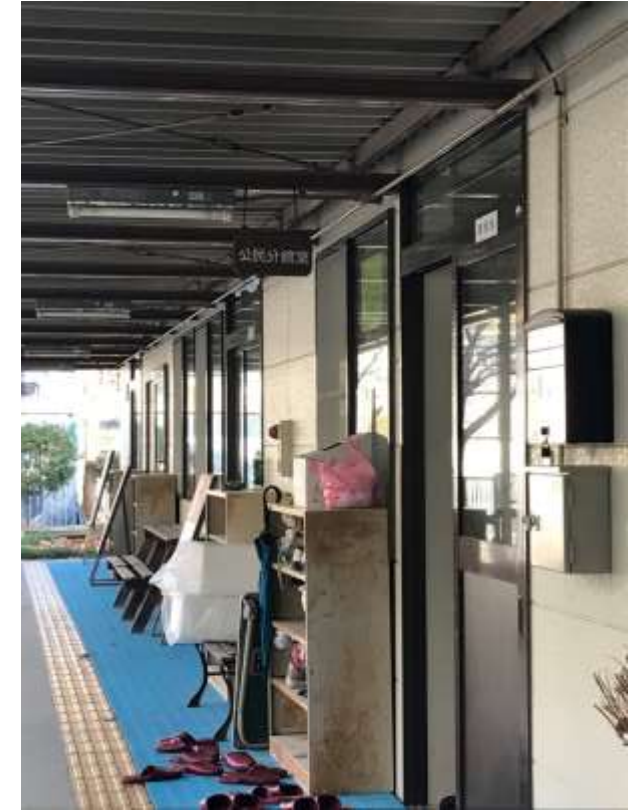
泉丘小学校コミュニティルーム



門には
「豊中市泉丘公民分館」



コミュニティルーム
公民分館



公民分館
入口

公民分館と福祉委員会

- ◆各校区に“校区福祉委員会”を設置（現在38か所/41校区）
- ◆公民分館と福祉委員会が競争し合っているところも

泉丘では・・・

- ◆公民分館と福祉委員会、民生委員が協力し合い取り組んでいる
- ◆住民同士のつながりの希薄化
 - つながり作り = 公民分館と福祉委員会の役割
- ◆現在の課題は担い手不足
 - 昔のようにスムーズに次世代に引き継げなくなっている
- ◆もともとは学校の中にあっただが、今は敷地内の別館に
 - 学校との関係や連携は現在も良好

泉丘校区 校区福祉委員会の取り組み

◆ ゆうゆうマップ

- ・なんでも相談に「車いすで行ける病院を教えて」という相談
- ・小中学校を巻き込んでバリアフリーマップを作成
- ・“だれかのために” が
“みんなのために” になった



◆ 若人のつどい

- ・泉丘校区ならではの取り組み
- ・参加者は多く（今年は110名申込）、ボランティアも100名ほど
- ・学校の理解も次第に得られるように・・・
- ・個人情報問題は、一緒に作業することで解決



<泉丘校区コミュニティルーム>



<地域の皆さんが使っている倉庫>
コミュニティルームと公民分館用にも
1つずつ設置されている

校区ごとの活動例（島田校区）

【島田校区概要】

- ・面積：0.83平方キロメートル
- ・小学校：島田小学校（生徒児童数は237名）
- ・人口：6,866人、3,644世帯（高齢化率は33.5%）
- ・**島田センターを中心に公民分館、校区福祉委員会が活動**

（数値は平成28年度 豊中の校区福祉委員会の概況より引用）



↑ 島田センターは島田小学校の向かい（地域子育て支援センター「こども園」と隣接）

島田校区の活動



↑ぐんぐん元気塾の体操



↑地域住民が集まるカフェサロン



↑スタッフはお揃いのビブスを着用

校区ごとの活動（箕輪校区）

【箕輪校区概要】

- ・ 面積：1.13平方キロメートル
- ・ 小学校：箕輪小学校
- ・ 人口：7,252人、3,585世帯（高齢化率は24.4%）
- ・ **箕輪小学校内の多目的室、家庭科室や共同利用施設 箕輪センターで活動**

（数値は平成28年度 豊中の校区福祉委員会の概況より引用）



箕輪校区の活動



「ぐんぐん元気塾」

地域の方向けに
体操を行っています



「貯筋通帳」

参加してスタンプを集めると
商品がもらえます。



- ・ここは安否確認にもなる！
- ・スタッフは交代制だから、
みんなに役割が回ってくる

豊中市の取り組みの魅力

- “校区”という明確な枠組みの中で、その土地の実情に合わせた活動が行われている
- 学校を福祉活動やコミュニティの中心に置くことで、自然に世代間を巻き込み、受け継がれていくものとして発展していく
- 福祉活動を担う人が、伸び伸びと息の長い活動が行える環境が整っている
(行政や社協のバックアップ体制が整っている)
- マンション群が多い地域でも、コミュニティが形成されているなど、できない理由よりも、できるための方法を見出す力がある

ありがとうございました。